

授業科目 アドバンスト・ヘルスアセスメント	科目概要・形式 2単位 30 時間	配当年次 1年 前期
科目責任者	角濱 春美	
担当者	角濱 春美、鳴井ひろみ、小池祥太郎	
1. 科目のねらい・目標 複雑な健康問題をもった対象の身体・精神状況について系統的に全身を診査し、臨床看護判断を行うために必要な看護ヘルスアセスメントの知識・技術を習得する。 <到達目標> 1.看護ヘルスアセスメントの概念について説明できる。 2.フィジカルアセスメントの基本手技および問診・精神状態のアセスメントの手法を理解し、系統的フィジカルアセスメントを実施できる。 3.ヘルスアセスメントの知識・技術を用いて複雑な健康問題をもった対象の身体・精神的状況について臨床看護判断できる。		
2. 授業計画・内容 1回目：フィジカルアセスメントの背景 ・看護におけるヘルスアセスメントの意義 2回目：フィジカルアセスメントの基本 ・フィジカルアセスメントの基本的技法、問診、身体診察の基本 3回目：外皮・感覚器系のフィジカルアセスメント ・皮膚、爪、耳、眼、鼻、口腔の診察法 4・5回目：呼吸器系のフィジカルアセスメント 6・7回目：循環器系のフィジカルアセスメント 8回目：消化器系のフィジカルアセスメント 9回目：泌尿器・生殖器系のフィジカルアセスメント 10回目：中枢神経系・脳神経系のフィジカルアセスメント 11回目：筋骨格系のフィジカルアセスメント 12回目：精神機能のアセスメント 心理社会的障害の鑑別：抑うつ、せん妄 13回目：検査データからの臨床判断 臨床検査のデータの読み方、心電図、胸腹部X線写真の読み方 14・15回目：統合演習 各専門領域で遭遇する複雑な健康問題をもった事例を取り上げ、その対象へのフィジカルアセスメントを討議する		
3. 教科書、参考書 <教科書> Lynn S. Bickley、福井次矢ら訳：ペイツ診察法 第2版、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2015. ISBN 978-4895927987 角濱春美編：看護実践のための根拠がわかる基礎看護技術、メヂカルフレンド社、2015. ISBN 978-4839215859 <参考書> 授業で随時紹介		
4. 成績評価方法 統合演習のプレゼンテーションとそのまとめによる評価		
5. 受講要件 看護師資格を有すること		
6. 社会人学生に対する配慮 夜間、土日開講とする。		
7. その他		

